

木馬会会報 (第38号)



95/11/10

エリザベス女王杯特集

～木馬達の予想～

本誌 TP

エリザベス女王杯

◎…フェアダンス

△…クイーンソネット, ユウキビバーチェ, ワンダーバヒューム, プライムステージ,
サイレントハピネス, イブキニュースター, ブライトサンディー

予想者の屁理屈～

引っ掛かる先行馬が多い(トップサンキスト, ブライトサンディー, マジックキス, マルブツメグミ)のに逃げ馬がない。こういうレースは流れる流れになり、先行馬には不利である。有力馬に距離不安のある馬が多い(サクラキャンドル, ブライトサンディー, プライムステージ, マジックキス, ライデンリーダー, ワンダーバヒューム)。なんとなく菊花賞に似たイメージである。そこで本命は武・フェアダンス。ここGI二戦は、牝馬に乘せられ、それじゃあいくら武でも無理じゃわい。気になるのはフェアジャッジメントという聞いたこともない父だけだが、エリザベスに限っては、タップオンウッドやハイセイコー、パドスール、ナグルスキーなどマイナー血統が活躍する数少ないGIであるので大丈夫だろう。堅実な追込み脚質、武がどちらとも乗りたかったので、ダンスパートナーとフェアダンスの関係者が話し合っ、ダンスの菊挑戦が決まったという裏話、中間の充実ぶり。2着には必ずくるだろう。という訳で、対抗、単穴なしの7点勝負。

まず、人気がなく面白くないクイーンソネット。クイーンSでは前走1200でありながらおかしい人気になったものだが、ローズSでは直線詰まりながらも5着に追込んだ。しぶといノーザンテースト産駒、牝馬得意の岸。穴明けの条件は整った。そして前走全く競馬していないユウキビバーチェ。1角で前の馬にのっかかり、最後の直線では騎手が立ち上がってうまなりで流していた。距離伸びて最も不安のない馬。オークス2着の実力を見せてくれよう。ワンダーバヒュームも前走鞭を一回も使っておらず、トライアル用の乗り方をした田原騎手。もう一度という手もある。プライムは一夏越して成長したがいれこむのでいつも詰めが甘い。また、休み明けのほう走る馬である。結局お兄さんにそっくりの馬になってしまうのか。サイレントハピネスは生涯一度の鬼脚を使ってしまったのではないか。いくらその前が210キロ増とはいえ、14キロ減はいただけない。前走がピークだったのでは? イブキもいまいちピリッとした脚のない馬だが、太めをたたいて素軽くなるか。ブライトサンディーは掛かるし、岡部からの乗り換わりは減点。それと、菊花賞で産駒が惨敗したこと、サンデーサイレンス産駒は中距離ベストではないか。今回のこの本命はかなり自信がある。ちょっと今までより多めに賭けてみようかなあ。

根岸Sはヒットしたが、日曜日は3戦全敗。どうも調子がでない。今週はGIのみにして静観するつもり。現在の回収率81.8%

予想“へな”ってゴメンネ

エリザベス女王杯

◎…サイレントハピネス

○…フェアダンス

△…ワンダーバヒューム プライムステージ ライデンリーダー

…“へな”の理屈…

桁外れの爆発力のあるサイレントハピネスとフェアダンスではぼいけるとみた。ハピネスの前走の馬体減が気になるのと、意見もあるが、これだけ能力が違えば全く問題ない。確実に圧勝するでしょう。問題は相手探し。ハピネスにはやや劣るものの、それでも他の馬に比べたら桁違いの切れ味を持つフェアダンスが相手の大本線。人気の組み合わせになるがほぼこの一点で大丈夫。まあでも女馬の長距離戦ということで一応ワンダーとプライムとライデンを押さえにしておく。

でもたまには当てたいから、買い目は◎-○と◎から△の3点そして○から△の3点の計7点にします。ごめんなさい。

予走者 四国の井崎

どうもミーハーになってしまったようである。ナリタブライアン、ダンスパートナーと一番人気の馬を本命にして秋のGI惨敗連敗。まあ、ダンスの方は見せ場を作ってくれたし力負けだからショックはない。けどやはり馬券は当ててナンボの世界。いつまでも負けてばかりは居られない。エリザベスはタケノベルベット、ノースフライトで2年連続万馬券中のゲンのいいレース。ここでターニングポイントとしたい。

エリザベス女王杯

◎ ブライトサンディー ○ ファッションショー ▲ ユウキビバーチェ

△ ワンダーバヒューム エイシンサンサン イブキニュースター サクラキャンドル

菊花賞と同じように春の実績馬よりも古馬と闘ってきた上がり馬を狙いたい。北海道で力をつけたブライトサンディーとファッションショー。穴目ならグリーングラス型のファッションショー本命といきたいところだが、ブライトサンディーの3連勝の勝ちっぷりはあまりに強烈であっさりここも勝ってしまいそう。この馬は春に新馬勝ちのあと買い続けて3、3、3、4、8着と全く連対せずほんとに辛い思いをさせられた。桜花賞やオークスに出て欲しいと心から願っていた馬である。やっと晴れのGIの舞台を踏むことが出来た。リンデンリ

リーのような勝ち方（ただし故障はしないでくれ）を期待している。ファッションショーは前走東京競馬場でしっかりその馬体と走りを見た。人気のライズライズを楽に完封。騎手が岡部様から変わるのには残念だが穴の村本でおもしろい。気楽に乗って連対だ。

ユウキビバーチェは前走は本気で走っていないのではないか。ダンスパートナーの抜けたオークス組では距離適性は1番である。ひと叩きの効果を期待したい。

プライムステージやマジックキスはゴール前の発走であり、あの入れ込み様では長距離では能力を出せないと思ってバッサリ切る。菊が終わるまでは田原のワンダーと思っていたが、2週連続はないとして評価を下げたが桜花賞馬は最も怖い存在である。

ライデンはいらない。いくらでも人気になってくれ。武のダンス続きにも乗らない。今回はミーハーにはならんぞ！。それより1週前追い切りで動いたエイシンサンサンは前走パドックも非常に良く、キャロルハウスにノーザンテーストの血が魅力で大抜擢のピックアップ。あとは藤田で本番が怖いイブキニュースターとこれまた上がり馬のサクラキャンドルまで。ゴール前で快哉！といきたいナー。

京成杯 3歳ステークス

高素質馬が揃った。ハイレベルのレースになりそうでワクワクしている。何が出走してくるかわからないのでタイム分析上位馬をピックアップしておく。当日パドックを見てBOX対象馬を決める。このレースは5頭のBOXで遊んでみる。外国産馬がズラリの中、アジュディケーター加藤の2連勝に期待（2連勝はゴーゴーナカヤマに続きビッグナカヤマかもしれないが）。

- A アジュディケーター タヤスバレンシア
B ビッグナカヤマ ダイワアラモ アンコールステージ
C ノースサンデー タヤスダビンチ

最近みなさんご多忙のようで、寄稿が少なくなりました。それともやはり当たらないのが精神的ダメージとなっているのでしょうか。やはり当たることが一番の薬ようです。来週はたくさんの寄稿、お待ちしております。

第20回 エリザベス女王杯

番号	馬名
1	イブキニユースター
2	エイシンサンサン
3	エイユーギヤル
4	クイーensonネット
5	サイレントハピネス
6	サクラキヤンドル
7	ステージプリマ
8	タケノアイリス
9	トップサンキスト
10	ファッシュンショー
11	フェアダンス
12	ブライトサンデー
13	プライムステージ
14	マジックキス
15	マルブツメグミ
16	ユウキビバーチェ
17	ライデンリーダー
18	ワンダーパヒューム
19	
20	
21	

[illegible]

○・・・20倍 ◎・・・20～50倍 ☆・・・50倍～